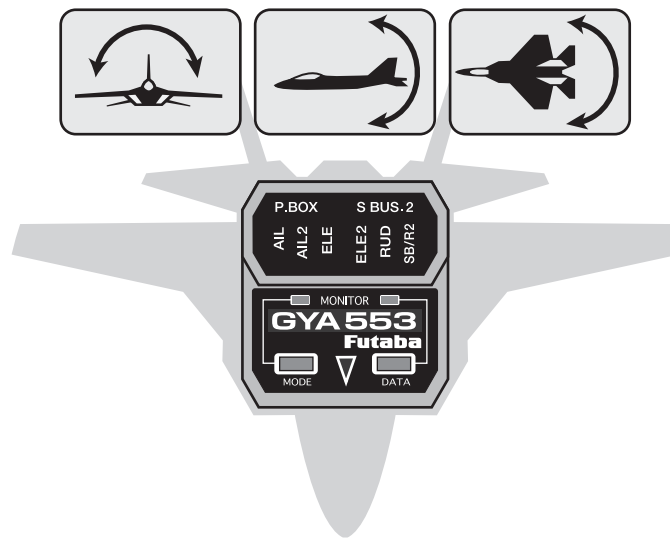




T32MZ

GYA553



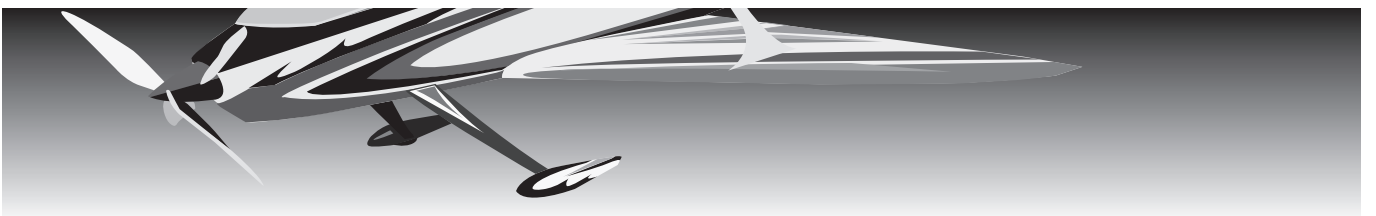
T32MZ

GYA553 Ver.3

設定説明書

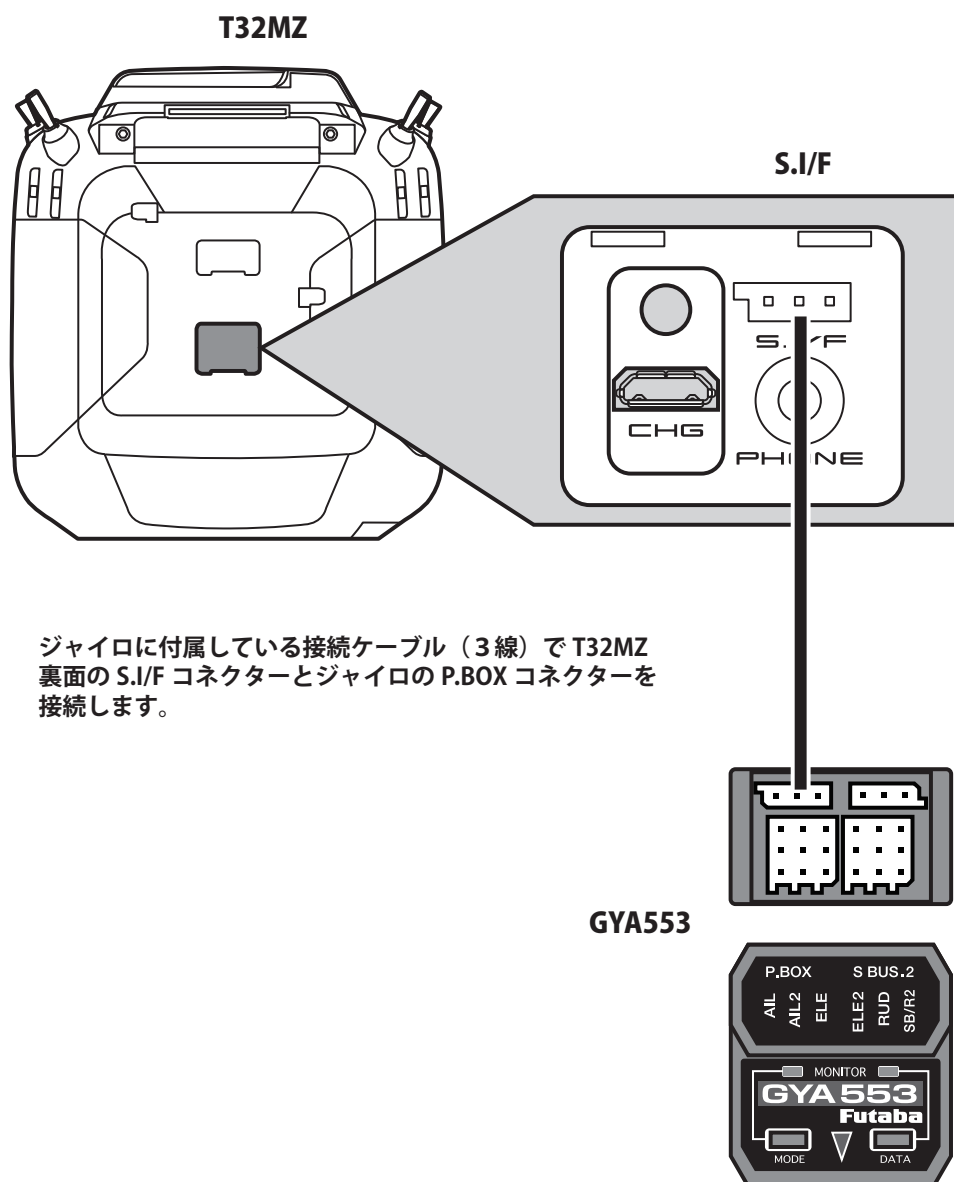
Futaba

1M23Z06826



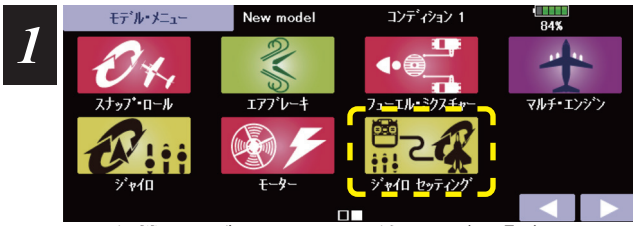
T32MZ と GYA553 を接続することで GYA553 の設定を行うことができます。
T32MZ は最新バージョンへバージョンアップしてご使用ください。

送信機とジャイロの接続

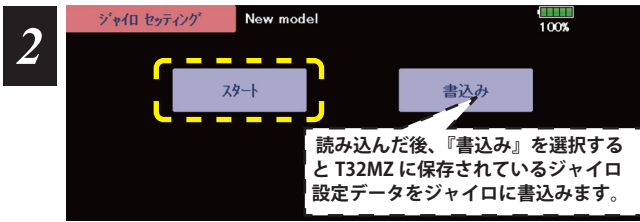


⚠ 注意

❶ ジャイロと T32MZ の接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源を OFF の状態で行う。

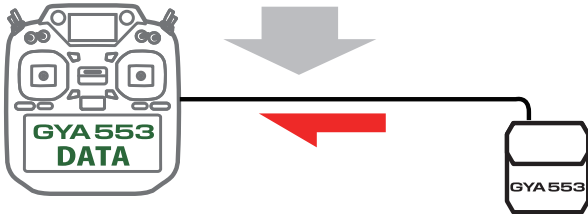
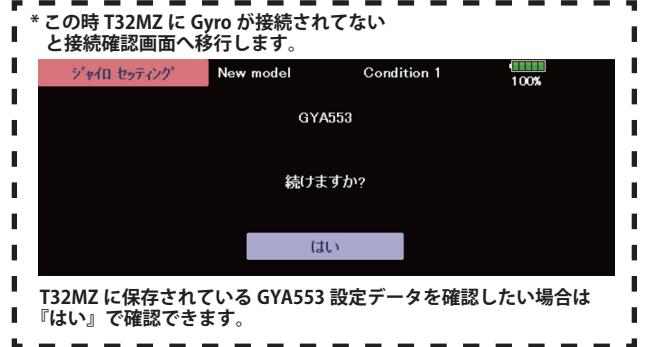


1. 飛行機のモデルメニュー最終ページで『ジャイロ セッティング』を選択

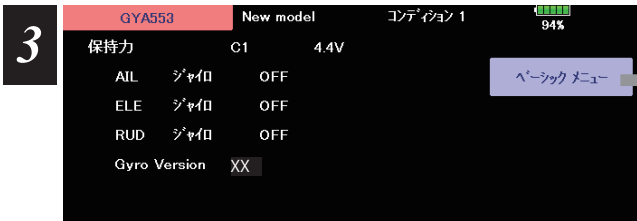


2. 『スタート』を選択

読み込んだ後、『書込み』を選択すると T32MZ に保存されているジャイロ設定データをジャイロに書込みます。



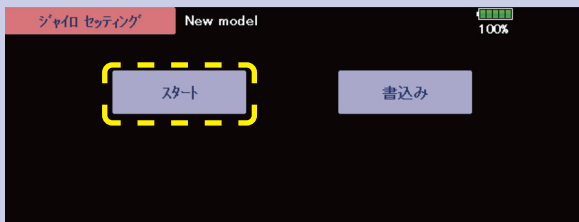
『スタート』を押すと Gyro のデータが T32MZ へ読み込まれます。



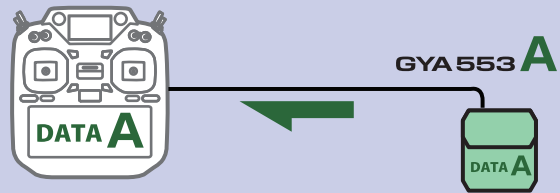
3. Home 画面表示

ベーシックメニューへ

◆ジャイロ A のデータをジャイロ B にコピーする場合

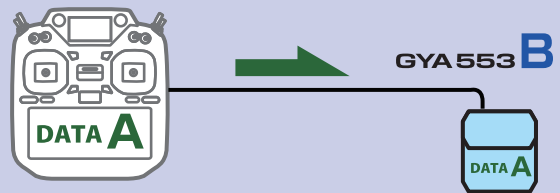


ジャイロ A を T32MZ に接続して [スタート] を押します。(A のデータを T32MZ に入れる)



ここでスタートを押すと B のデータが T32MZ に読み込まれてしまい A のデータが消えてしまいます。

ジャイロ B を T32MZ に接続して [書込み] を押します。(A のデータをジャイロ B に入れる)



ホーム画面

ホーム画面の表示内容

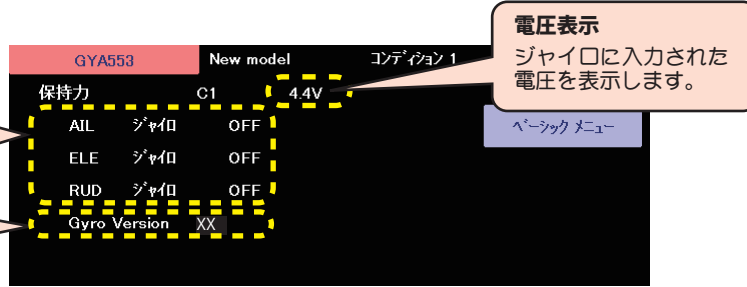
ホーム画面は、電圧、ジャイロ動作モード、感度などの基本情報を表示します。

ジャイロ動作モード・感度(ゲイン)表示:

エルロン、エレベーター、ラダー軸の AVCS または ノーマルの動作モードと設定感度を表示します。

ジャイロ Ver. 表示:

接続された GYA553 のソフトウェアバージョンが表示されます。



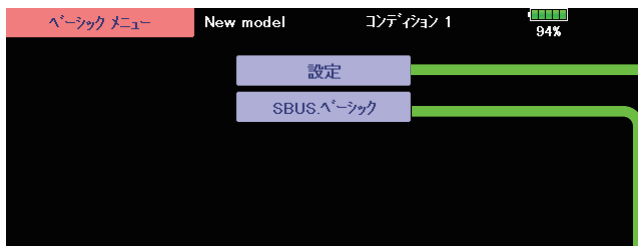
ベーシックメニュー

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

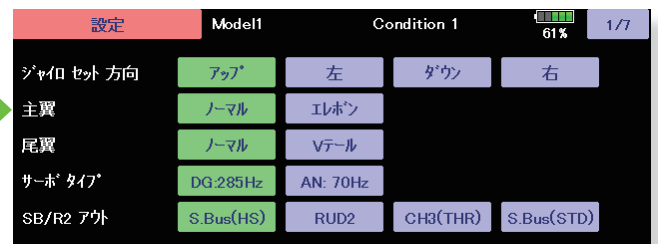
ホーム画面



ベーシックメニュー画面



◆設定



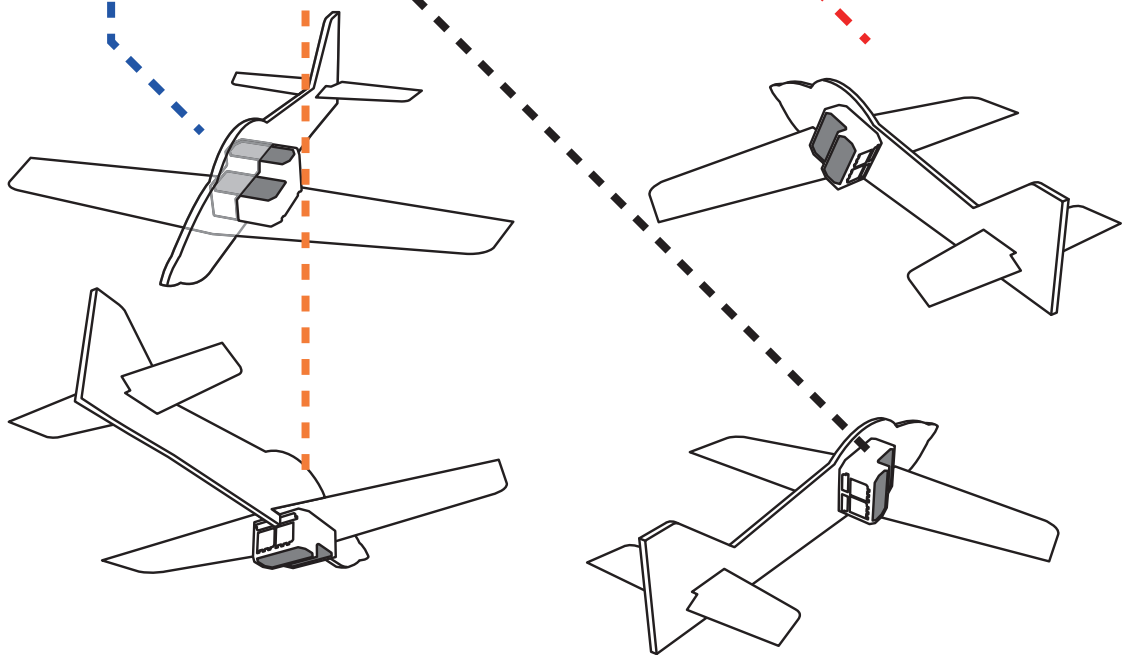
◆SBUS ベーシック



設定 1/7 ジャイロセット方向

設定	Model1	Condition 1			
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右	
主翼	ノーマル	イレホン			
尾翼	ノーマル	Vテール			
サーボタイプ	DG:285Hz	AN:70Hz			
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RU:2	CH3(THR)	S.Bus(STD)	

機体へのジャイロ搭載方向を入力します。

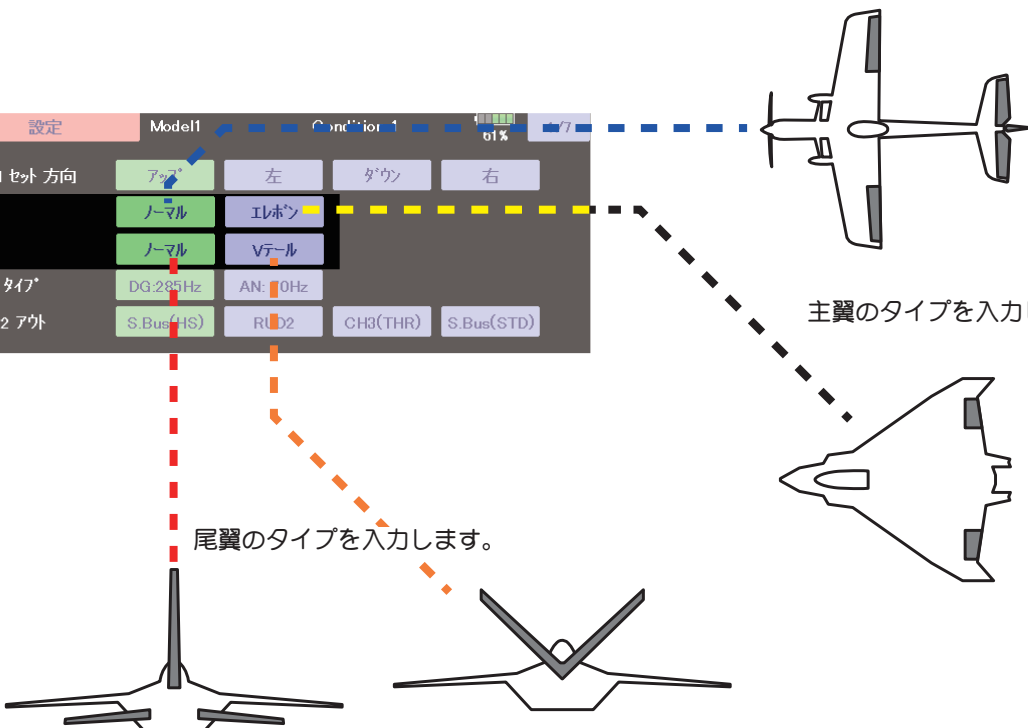


設定 1/7 主翼 / 尾翼

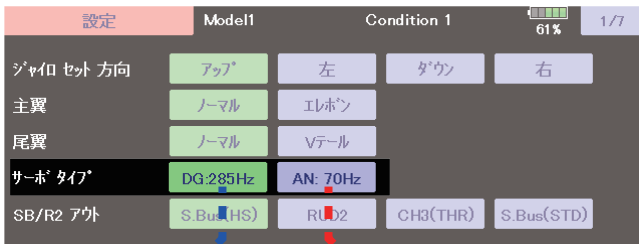
設定	Model1	Condition 1			
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右	
主翼	ノーマル	イレホン			
尾翼	ノーマル	Vテール			
サーボタイプ	DG:285Hz	AN:70Hz			
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RU:2	CH3(THR)	S.Bus(STD)	

主翼のタイプを入力します。

尾翼のタイプを入力します。



設定 1/7 サーボタイプ

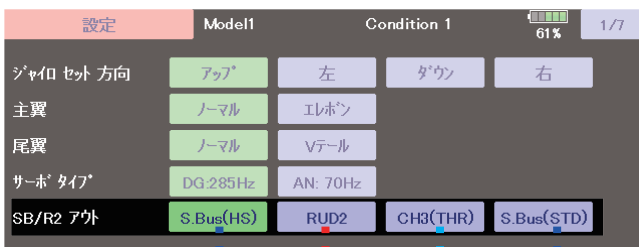


デジタルサーボ

アナログサーボ

サーボタイプを入力します。

設定 1/7 SB/R2 アウト



S.BUS(HS)

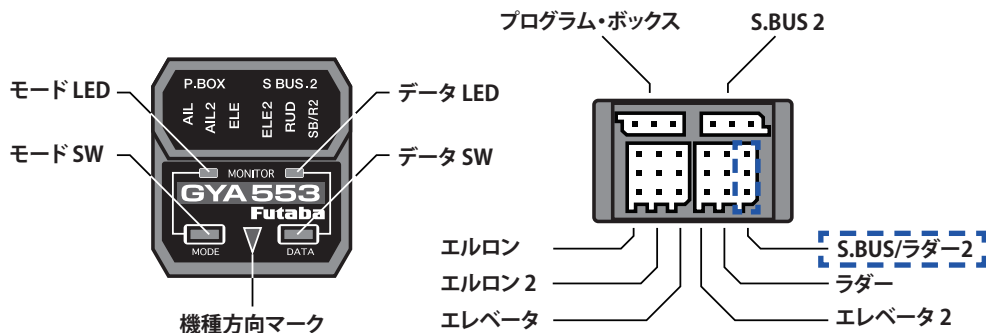
ラダー 2 スロットル

SB/R2 のポートを選択します。

S.BUS(STD)

S3175HV、DLPH-1 など、S.BUS(HS)だと動作しない場合、S.BUS(STD)を使用してください。

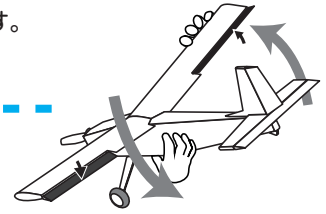
SVサーボを接続する場合は、S.BUS(HS)をご使用ください。



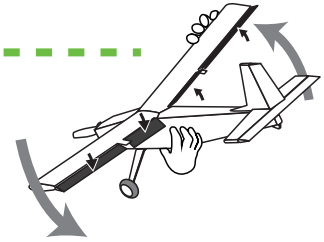
設定 2/7 ジャイロ動作

設定	Model1	Condition 1	48%	2/7
ジャイロ 動作				
AIL	ノーマル	AIL2	ノーマル	
ELE	ノーマル	ELE2	ノーマル	
RUD	ノーマル	RUD2	ノーマル	
AIL3	ノーマル	AIL4	ノーマル	

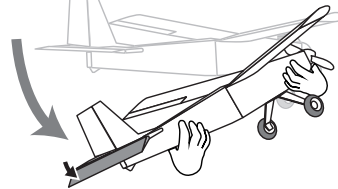
ジャイロ動作方向を入力します。



機体を左に傾けてエルロンが右に動作するかチェック



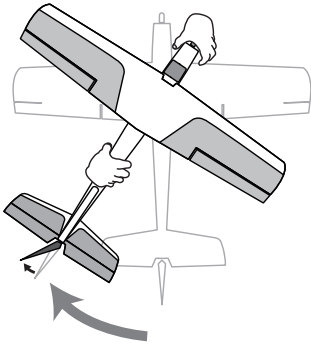
機体を上に傾けてエレベータがダウンに動作するかチェック



SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

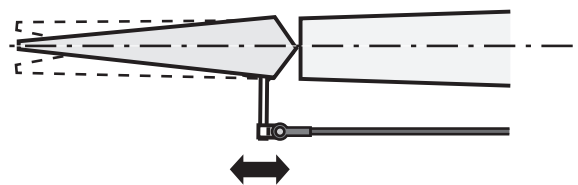
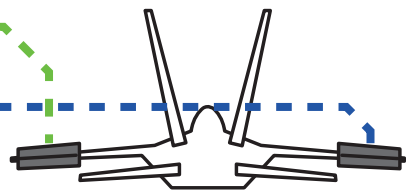
地上で機体を右に振ってみてラダーが左に動作するかチェック



設定 3/7 ニュートラルオフセット

各舵のニュートラル位置を調整できます。

設定	Model1	Condition 1	48%	2/7
ニュートラル オフセット				
AIL	+0	AIL2	+0	
ELE	+0	ELE2	+0	
RUD	+0	RUD2	+0	
AIL3	+0	AIL4	+0	



※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

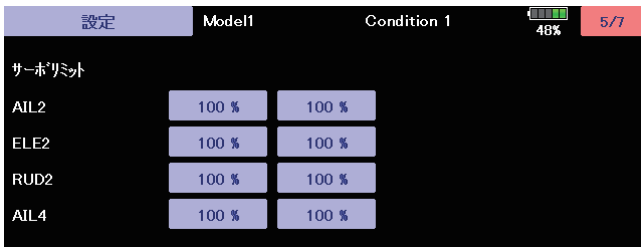
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

ニュートラル位置になるように [△][▽] キーで調整

設定 4/7 5/7 サーボリミット



各舵のリミット位置（最大動作位置）を調整します。

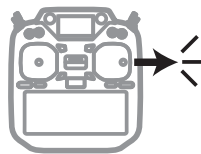


使用している舵は、すべて調整してください。

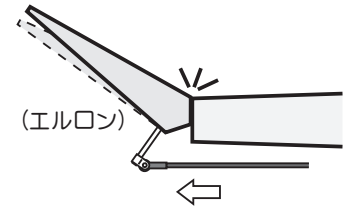
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されません。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

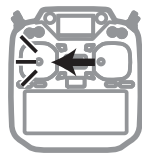
エルロンの例



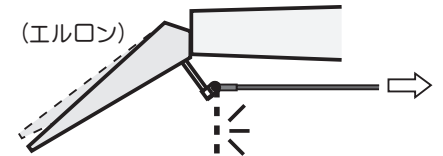
エルロン・スティックを右フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整



エルロン・スティックを左フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整

設定

設定 6/7 保持力の調整

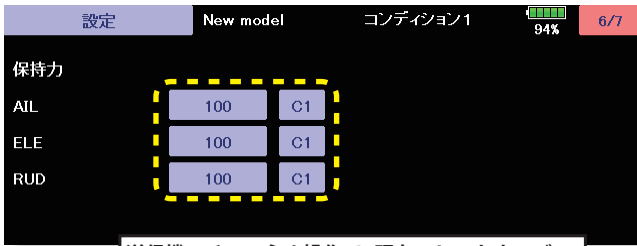
AVCS モード時の機体の姿勢保持力を調整できます。

数値を小さくすると保持力が弱くなり、操作フィーリングがノーマル・モードに近づきます。

送信機のチャンネル操作で、現在のレートナンバー C1 ~ C5 を表示します。

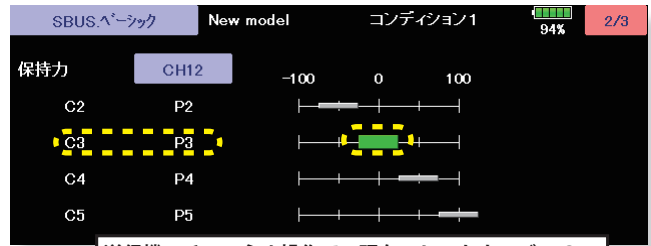
送信機のフライト・コンディション機能のように、送信機からのスイッチ操作で、AVCS モードの機体の姿勢保持力レートを最大 5 通りのデータを設定して、切替えて使用することができます。送信機の AFR 機能のあるチャンネルに保持力レート切替スイッチを設定し、AFR のポイントカーブで各レート毎にポイントを設定して切り替えることができます。フライトコンディション機能を使用して、フライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

設定画面 6/7



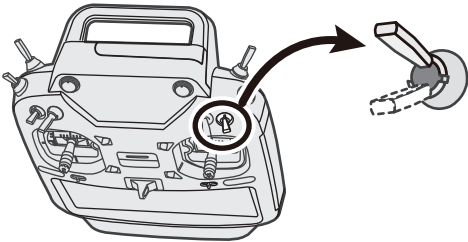
送信機のチャンネル操作で、現在のレートナンバー C1 ~ C5 を表示し、調整することもできます。

S.BUS ベーシック画面 2/3

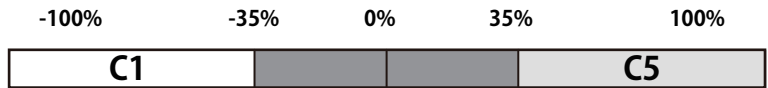


送信機のチャンネル操作で、現在のレートナンバー C1 ~ C5 のチャンネルポジションが緑表示になります。

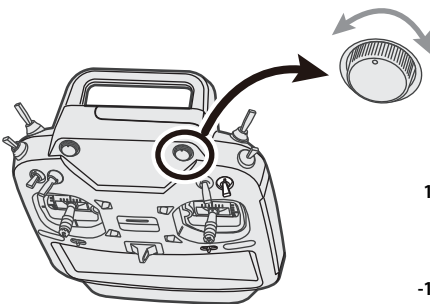
DG1 または DG2 の SW に設定した場合



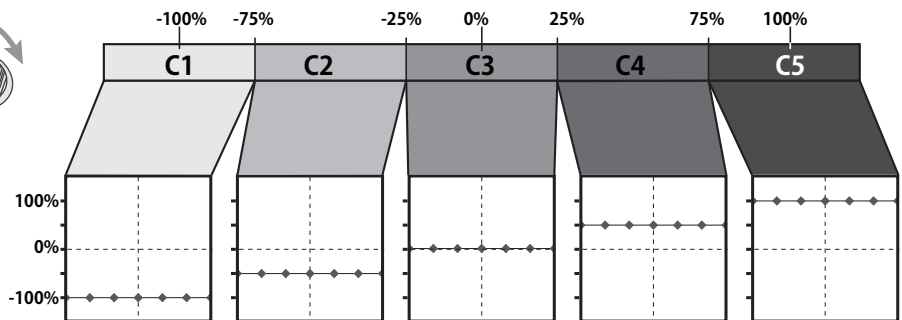
スイッチチャンネルレート



ダイヤルやレバー に設定した場合



チャンネルレート



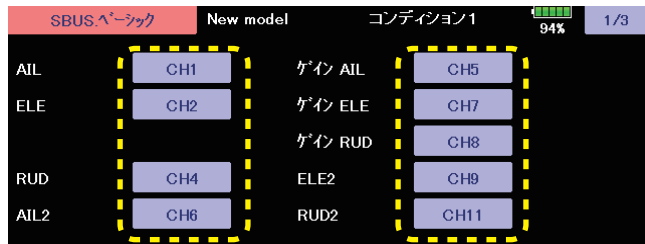
設定 7/7 リセット



各設定項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

SBUS ベーシックメニュー

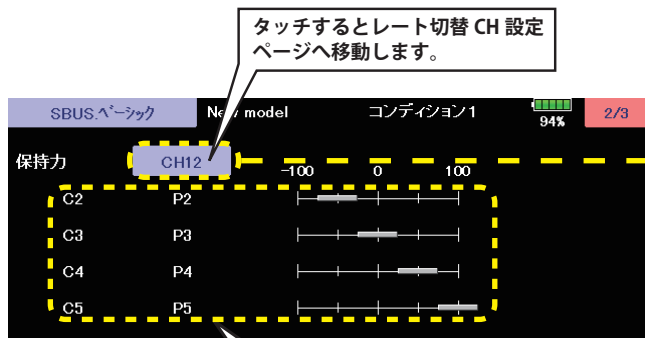
使用する送信機に合わせて、各ファンクションの CH 設定をします。使用しないファンクションは INH に設定します。



タッチするとチャンネル
が変更できます。

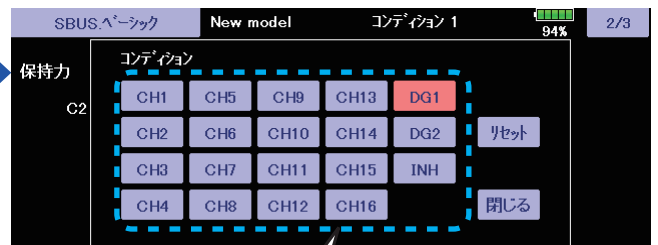
警告

① ジャイロと送信機が接続している場合のみ、設定変更が可能です。ジャイロと送信機の CH が必ず一致するように設定します。送信機の CH を変更した場合、ジャイロも変更が必要です。

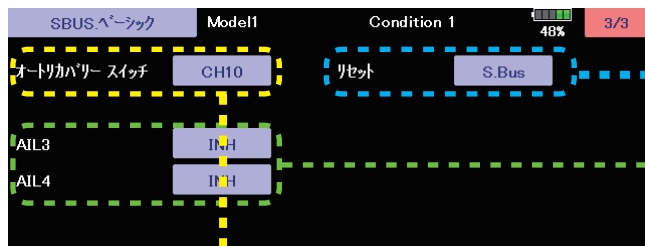


タッチするとレート切替 CH 設定
ページへ移動します。

保持力レート C2 ~ C5



レート切替に使用する CH をタッチ
して選びます。



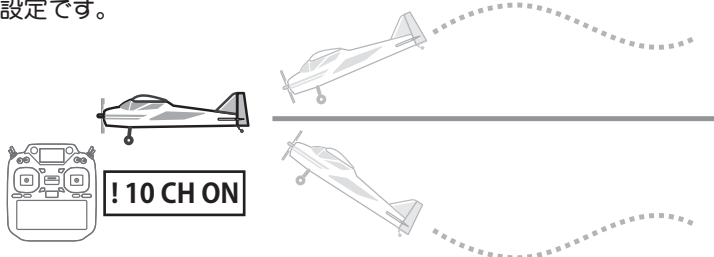
SBUS ベーシックメニューでの
設定項目をリセットします。

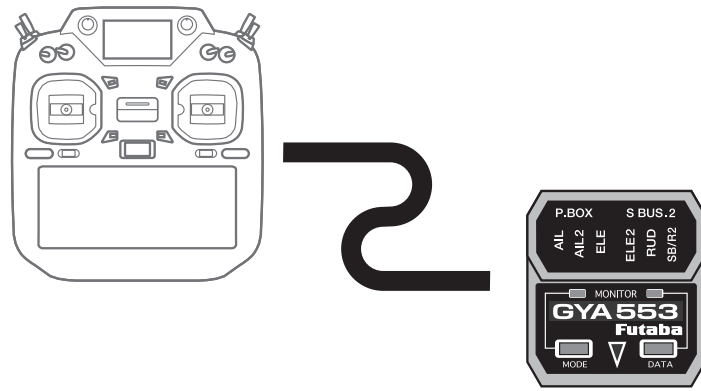
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が
選択されていると AIL3 と AIL4 の CH 設定項目が表示されます。
ここで、AIL3 と AIL4 の操作 CH を設定すると、ジャイロ制御
された信号が、S.BUS 出力の該当 CH へ出力されます。

※ 送信機側のファンクション設定画面の操作 CH と CH 設定と
合わせてください。

※ AIL3 と AIL4 の CH 設定が INH のときは、ジャイロ制御されず、
送信機から送られたデータがそのまま出力されます。

オートリカバリーを ON/OFF
させるスイッチのチャンネル
設定です。





Futaba®